生きがい通信

No.181

公益社団法人 習志野市シルバー人材センター

習志野市屋敷4-6-6 東部保健福祉センター内
TEL493-8011　FAX493-8040
URL:http://www.sjc.ne.jp/narashino/　E-mail:narashino@sjc.ne.jp

令和２年6月30日現在
会員数:928名
男性739名 女性189名

令和2年度定時総会

令和2年6月26日(金)午前10時よりシルバー人材センター会議室において令和2年度定時総会が開催されました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「密」とならないように配慮することを前提に、定款に基づき、書面での表決を推奨させていただき、内容も縮小を心掛けて行われました。会員の皆様にはご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

各議案とも承認され、滞りなく終了いたしました。

報告第1号　令和元年度事業報告について
報告第2号　令和2年度事業計画について
報告第3号　令和2年度収支予算について
議案第1号　令和元年度決算について
議案第2号　理事2名の選任について

定時総会終了後、令和2年度第3回理事会を開催し、綾部 秀伸代表理事(副会長)辞任に伴い、新代表理事の選定を行い、次の方が新代表理事(副会長)に選定されました。

赤羽(あかば) 義郎(よしお)(谷津・奏の杜地区理事)

「生きがい通信」7月号発刊について

広報部会長　赤羽義郎

世界中を震撼させている新型コロナウイルスの感染状態が、一日でも早く収束することを願っております。

この度の「生きがい通信」7月号の発刊につきまして、現状の社会全体が〝いつもの生活〟から、あらゆる事を自粛しなければならない状況の中で、少しでも紙面を通じて会員の皆様とコミュニケーションが取れるかとの願いから、発刊することを決めました。然し、この自粛ムードの中で思うような取材が困難なため今回はメール等の手段で「私のふるさと紹介」の特集を企画させていただきました。ご自分のふるさとを思い浮かべ、皆様が少しでも、ほのかな気持ちになればとの思いで編集したことをご理解頂ければ幸いです。

No.1 私のふるさと紹介

谷津・奏の杜地区　長束　有峰

私には故郷が二つあります。一つ目の故郷はこの世に生を受け、我が長束家ゆかりの地広島県安佐郡長束村（現在広島市安佐南区長束）です。先祖の長束正家が豊臣五奉行の一人で戦国大名であったが、関ケ原の合戦で敗れ４００年前から広島に移り浅野宗家に仕えたと伝え聞いております。

幼少期にはのどかな田園地帯が現在は米子市に至る国道が走り、市の中心からバス・電車で20分ほどの便利の良い住宅地に代わり、ＪＲ安芸長束駅や長束神社等長束の名が残っております。因みに実籾大原神社の先代宮司と長束神社の宮司が学生時代に同級生であり世間は狭いと感じました。市の中心地は日本一の路面電車が走り、世界遺産の原爆ドームと平和公園・資料館等があり観光客も年々増加しております。

今では両親が他界し盆暮れの墓参と親戚へ挨拶回りや冠婚葬祭での帰省だけです。

二つ目の故郷は幼稚園から高校生の少年期を過ごし沢山の思い出がある山口県防府市です。「ぼうふ」ではなく「ほうふ」が正しい読み方で飛鳥時代の「日本書紀」に地名が記載され、奈良時代に周防国の国府（すほうこくのこくふ）で市名が防府となりました。

まず、防府天満宮で学問の神とされた菅原道真を祀って鎌倉時代に創建された「日本最古の天神様」です。次に、毛利宗家の邸宅と庭園で国指定の名勝で、天皇・皇后が宿泊されており博物館には国宝や重要文化財が多数展示してあります。卒業謝恩会等を大広間で開催出来たのも楽しい思い出の一つです。

私は小学生の頃から長嶋や王に憧れる野球少年で、毎朝天満宮の裏階段をダッシュで体力つくりし、中学校ではエースで活躍し防府高校でも1年生で夏の大会に出場し順調でしたが、肩を故障しピッチャー断念という苦い思いもしました。その高校の1年後輩に今では別ジャンルで活躍中の西山君（直木賞作家・作詞家の伊集院静）がおりました。

その後も野球を続け5年前にやっと老人野球も引退し、今は左肩腱板断裂でリハビリ中ですが、毎日20㎞近くジョグ＆ウォークが出来る丈夫な足腰を保っているのは少年期の階段ダッシュです。当時は辛い思いをしましたが今では良き思い出です。どうぞ皆様、わが故郷広島と防府を訪れてみては如何ですか？

長束神社

防府天満宮

No.2 私のふるさと紹介

屋敷地区　吉原　祐三

終戦記念日の1年前「東京深川」で生まれました。戦争中は新潟県片貝町へ疎開、日本一の花火「三尺玉」の揚げる浅原神社参道脇の母親の実家に暮らして3歳ごろ東京品川へ移り、31歳の時に勤めの関係で習志野に越し、現在に至ります。

品川近辺は戦火に遭わず、古い建物が多く、我が家（借家）も同様で、それが当たりまえの事と思っていました。

遊び場所は道路と墓地が主で、野菜、メンコ、ビー玉、ベーゴマ等アナログな遊びで60年前と現代の子供をくらべると、体力を使う遊びが主でした。雨の日以外は外遊びで、遊んでいる姿を写真に撮られ、商売の人が家によく売りつけに来ていました。

品川は寺の数が多い地域で、通った小学校の周り全て墓地で囲まれ、近くに昔の刑場跡「鈴が森刑場」で処刑された人を埋葬するためもあって多くの寺があったのではないかと思います。

京浜急行電鉄の立会川駅近くの東海道に小さな橋が架かり、その橋を挟んで身内と「罪人」が最後の別れをした場所だそうで「立会川（たちあいがわ）」といわれたようです。

家からは海が近く「牡蠣」を採ったこと、潮干狩りは探り足で握り拳大のハマグリが沢山採れてアサリは近所に配るほど取れました。漁師町なので、魚はいけすに生きた状態で売られ、道路はアサリなどの貝殻を敷きつめられて居ました。毎朝、自転車で納豆売りが、夕にはラッパを吹きながらの豆腐売りが来ていたのを思い出します。

祭りも多く、最終日には神輿を海に漬け海中で揉み、盛大です。子供神輿の休憩では、雪印の工場から製品になる前のアイスクリームの塊の差し入れがあり食べ放題でした。夜は演芸舞台で（デビュー前の）島倉千代子さんが歌っていたことを覚えています。

父親との思い出は、動物園に行く途中、上野駅地下道に戦災で肉親を亡くした「戦災孤児」が大勢座り込んで居るのを見るのが非常に怖かった。

70年前は生活レベルが高くなかったが、子供心に満足していたように思います。現代は情報が多すぎて、どれを、だれを信用すれば良いか判断に迷う場合があり便利かも知れませんが昔の方が住み易かったと思います、今は花が友達の毎日です。

東京駅

No.3 私のふるさと紹介

谷津・奏の杜地区　牧野　伊作

私のふるさと岸和田は、全国的には、あぶないケンカ祭りの町として知られていますが、城下町です。羽柴秀吉が家臣の中村一氏を城主として、紀州の根来寺や雑賀衆への押さえとしました。その後、寛永十七年（一六四〇年）岡部宣勝が入城し、明治維新まで、一三代岡部藩として栄えました。

だんじり祭りは、この城の三の丸神社を京都の伏見稲荷から勧請し行われた稲荷祭が始まりと伝えられています。祭りは、九月の浜手と十月の山手で行われます。

城下の浜手は、旧紀州街道など狭い通りを双方向に走り廻り、すれ違い時に、だんじり同志、時には民家の屋根、電柱に衝突し、ケンカが、始ったり、今で言うあおりで、前のだんじりまで追いこみしたりして、暴走を楽しんだ時代もありました。今では、一方方向で循環し、だんじりにブレーキを付け、制御され、紳士的な祭りになりました。それでも、十字路をまがる場合に勢いを付けてまわることは続き、時として、失敗し、民家や電柱に衝突して、死傷者を出すことがあります。

歌謡曲に歌われた春木港と共に岸和田港は、大阪湾の中央部に位置し、茅渟（ちぬ）の海として恵まれた漁場で、関東の江戸前と共に賞されています。鯛、コチ、タコ、渡カニなど大阪の台所を賑わせています。

山手には、阪和道が走り、牛滝山と言われる大威徳寺や高僧行基が開墾した久米田池と共に久米田寺などがあり、歴史物語の多い町です。

岸和田だんじり

岸和田城

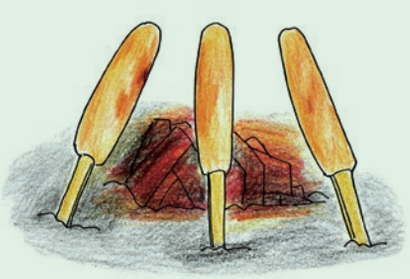
No.4 私のふるさと紹介

屋敷地区　工藤　幸男

私のふるさとは秋田県の北東部に位置する鹿角郡小坂町です。小坂町には、現在、明治の芝居小屋「康楽館」があります。明治時代に鉱山従業員及び家族の慰安施設として建てられた日本最古級の芝居小屋で人力によって動く廻り舞台もあり、常灯芝居（人情芝居、舞台ショー）が現在も行なわれています。また、廃線となった線路と設備を利用した〝観て・学んで・体験できる〟「小坂鉄道レールパーク」もあります。この施設には、かつて首都圏と東北地方を結んだ寝台特急（ブルートレイン）「あけぼの号」も常設されており、宿泊もできます。更に、観光地として有名な十和田湖は小坂町に面しており県道「樹海ライン」で結ばれております。

小坂町の隣りにある大館市は、東京・渋谷にある、忠犬ハチ公像がありますが、その忠犬ハチ公の生誕地です。市内には秋田犬会館があり、実際に秋田犬に会うことも出来ます。また、ＪＲ大館駅前にも忠犬ハチ公の銅像があり、ご主人様のお帰りを心待ちにしている姿を見る事も出来ます。今年2月には、東京・渋谷に設置されている鉄道車両「青ガエル」が大館市に移設されるとの報道がなされました。この地域の郷土料理としては「きりたんぽ」が有名です。残った飯を棒の先に付けて焼いた食べ物で、地元産の「比内鶏」のだし汁に入れた鍋はことのほか美味しく召し上がれます。

最後に、習志野市との関りで今でも強く心に残っている事を書かせて頂き、終りとさせて頂きます。確か、中学3年の頃（1965年頃）だったと思いますが、習志野高校の男子バスケットボール部が合宿の一環で秋田に来られ、私が通っていた小坂中学校で練習され、かつ、中学校の部員（私もその一員でした）に実技指導をして下さったのです。カッコいい角刈りのお兄さん方の姿が今でも思い出されます。習志野市の住民となって34年になりましたが感慨深いものがあります。


郷土料理「きりたんぽ」

行事予定

入会説明会（定例 月3回）
毎月第2・第3水曜日
午前9時30分～
毎月第2金曜日
午後1時30分～（4月から新設）
シルバー人材センター会議室

就業相談（予約制、会員限定）
毎月第2・第3水曜日
午後1時～（30分単位）
シルバー人材センター会議室

刃物研ぎ作業
毎月5日、12日、20日
午前9時～
リサイクル作業所（袖ケ浦）
毎月第4木曜日　午前9時～
シルバー人材センター会議室

書道教室（8月末まで活動中止）
毎月第1、第3火曜日
午後1時30分～
シルバー人材センター会議室

※なお、新型コロナウイルス感染防止のため、急遽中止となることもございますので、まずはシルバー人材センターにお問い合わせください。（事務局）

シルバーフェア作品募集

【第12回ならしのシルバーフェア】の開催を予定しております。
作品を募集いたしますので奮ってご応募ください。

開催日時：令和２年10月１日㈭～10月３日㈯　午前９時～午後３時　【最終日は午後2時まで】
開催会場：シルバー人材センター会議室、ロビー
出展対象：シルバー人材センター会員　他

※出展希望者は事務局まで申し込みをして下さい。
※申し込み期間 **8月11日㈫～9月18日㈮**
※作品の納品及び引取りに関しましては後日お知らせいたします。
※出展作品分野は書（実用書含む）、絵画、手工芸、写真他となっております。
※皆様のご協力お願い致します。

芙蓉園文化祭同時開催

（実行委員会）

編集後記

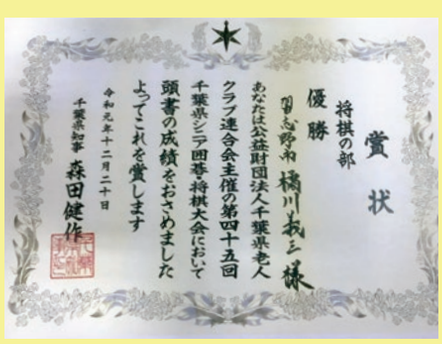
何時もの風景がいつものように見られることの幸せをいつもとは違う感じがする今、世界中の生活が一変しようとしている中でいつものように花が咲き、鳥がさえずり、いつものように子供たちの元気な声がする。普段、当たり前のようにしていた人々の暮らしがたった数か月の間に、世界中が変化をさせたことは長い歴史の中でも決して少なくはありません。然し、今までも大きな災害やあらゆる困難を努力と忍耐で先人は乗り越えてきました。

今年は端午の節句を青空のもとで祝うことが出来なかった家族も多かったことと思います。テレビでは家庭の中に少しでも子供たちに明るさを取り戻そうとあらゆる工夫をして笑いのある生活を送る光景を見ました。来年のこの日には日本が、いや、世界中の皆が思い切りの笑顔で平和のありがたさ感じることでしょう。

広報部会

コラム

橘川義三会員（鷺沼地区）が「第45回千葉県シニア囲碁・将棋大会」において優勝されました。おめでとうございます。


賞状
将棋の部
優勝
習志野市　橘川義三様
あなたは公益財団法人千葉県老人クラブ連合会主催の第四十五回千葉県シニア囲碁将棋大会において頭書の成績をおさめましたよってこれを賞します
令和元年十二月二十日
千葉県知事　森田健作